

17年度公共用水域の水質測定結果 環境省



環境省では、平成17年度に国と地方公共団体が水質汚濁防止法に基づいて実施した、全国の公共用水域の水質測定結果をまとめ、平成18年12月21日付けで公表しました。

健康項目26項目においては5600地点、25万9795検体を測定し、環境基準達成率は99.1%（前年度99.3%）と、ほとんどの地点で環境基準を達成しております。

生活環境項目においては3574水域、7208地点、42万55検体について調査を実施しました。有機汚濁の代表的な水質指標であるBOD（河川）又はCOD（湖沼および海域）の環境基準達成率は全体で83.4%（前年度85.2%）、河川では87.2%（同89.8%）、湖沼では53.4%（同50.9%）、海域では76.0%（同75.5%）となり、依然として閉鎖性水域（湖沼）の環境基準達成率は低い状況となっております。

なお、全窒素、全リンについての達成率も湖沼で46.6%（前年度42.9%）、海域で82.2%（同78.3%）となっており、こちらも湖沼の達成率が低い状況であることが判明しました。

また、閉鎖性水域においては引き続き水質総量規制を実施することとされており、第6次水質総量規制の実施に向けた総量削減基本方針が平成18年11月に策定されました。

当社では水質分析において、公共用水域のほかにも様々な水質について長年の経験と実績があります。お気軽にご相談下さい。

資料 2006年12月21日付 環境省報道発表資料

水質分析箇所 大塚卓也